



# 白河二中だより

NO. 7  
2024. 5. 17  
白河市立白河第二中学校  
発行責任者 小野 聡

## 思いを力に

15日(水)、晴天の下、東西しらかわ、石川支部から23校が出場し、県南中学校陸上競技大会が開催されました。

22名の陸上競技部員が参加しましたが、本校の生徒が出場すると、広い競技場に「〇〇(出場選手の名前)、ファイトー！」の音が響き、競技中も絶え間なく「〇〇、ガンバ！」と声援が飛びます。また、競技が終わると「〇〇、お疲れー！」の声も。出場する選手は、常に、仲間から勇気づけられ、励まされ、自己ベストの更新と県大会への出場権獲得に全力で競技することができます。これまで共に練習を積み重ねてきた仲間へ、思いを伝える姿が、陸上競技場で輝いて見えました。



また、先週の壮行会においても、陸上競技部の礼儀正しさや一人一人のあいさつの素晴らしさについて、全校生に伝えましたが、「当たり前のことを当たり前でできる」ことが、やはり、結果にもつながるのだと改めて感じました。

また、この日は、3年生の補助員22名も大活躍しました。一人一人が自分の役割を理解し、競技がスムーズに進行できるよう、集中力を持続し、機敏に活動する姿が見られました。グラウンドの至る所で、全体に対する奉仕の心が表現され、役員

の先生方からもたくさんのお褒めの言葉をいただきました。なお、この日準備されていたプログラムは完売しました。補助員としての仕事を全うした生徒、また、購入しご協力いただきました保護者の皆様方に改めて感謝申し上げます。

選手のこれまでの地道な努力、全校生の応援、そして、保護者の皆様方の温かな声援が一つとなり、「男女総合1位」という輝かしい結果につながりました。陸上競技部員は7月の県大会や通信陸上大会に向け、課題を克服し、さらに挑戦を続けてほしいと思います。

今回、白河二中として、素晴らしいスタートを切ることができましたので、陸上競技部の作り上げた上昇気流に乗り、県南総合体育大会や各コンクール等に臨んでいきたいと思っています。

応援いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

## 安全な登下校を

10日(金)は、早朝よりPTA地域育成委員と本部役員の方々にご協力いただき、朝のあいさつ運動を行いました。

今年度も「大山神社前」「ウエストプラザ」「みさかからの細い道」「4号線横断歩道(ソフトバンク)」の4カ所で実施しましたが、その中で、特に、「みさか方面からの下ってくる自転車のスピード」や「徒歩の生徒を抜いてくる時に自転車が道路の中央に寄ってしまうこと」など、危険を感じる場面も見られました。子どもたちの命を守るために、学校においても繰り返し指導をしていきますが、ご家庭においても、是非、子ども達の登下校の状況を話題とし、子どもたちの安全を守っていただければと思います。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

